

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
柔道整復学11							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・夜間部	2年	1期	神田 美樹		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	臨床柔道整復学			座学	1	10	
科目概要							
骨盤骨骨折、大腿骨近位部の骨折、股関節脱臼を学習する。生命に関わる場合や重大な障害を後遺する場合も多く医接連携が重要となる損傷なので、それらを重点に置いた知識を習得する。							
目標							
<b>一般目標 (GIO)</b> <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	骨盤部・股関節部の損傷に対し、柔道整復師として適切な対応ができるように解剖・機能・病態・後療法等に必要知識を習得する。						
	<b>到達目標 (SBO)</b> <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容・客観的な指標(合格基準)</small>	1.骨盤部、股関節部の解剖と機能を把握できる。 2.各損傷の分類から該当疾患を推察できる。 3.適切な整復・固定・後療法を説明できる。					
履修に必要な予備知識や技能							
同部位の解剖・総論を常に復習しておく。配布されたテキストは授業前に目を通し授業の概要を把握しておく。							
教科書・参考書							
『柔道整復学・理論編 第6版』(公社)全国柔道整復学校協会(南江堂)			『柔道整復学・実技編 第2版』(公社)全国柔道整復学校協会(南江堂)				
受講上の注意							
資料はなくさないこと(再配布はしません)							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合 (%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	骨盤部の解剖と機能 骨盤骨骨折① 骨盤骨単独骨折			p.351～	教科書・配布プリント		
第2回	骨盤骨骨折② 骨盤骨単独骨折			p.353～	教科書・配布プリント		
第3回	骨盤骨骨折③ 骨盤輪骨折 注意すべき疾患			p.354～	教科書・配布プリント		
第4回	股関節部の解剖と機能 大腿骨近位部の骨折① 骨頭部骨折			p.356～	教科書・配布プリント		
第5回	大腿骨近位部の骨折② 頸部骨折			p.359～	教科書・配布プリント		
第6回	大腿骨近位部の骨折③ 転子部骨折			p.364～	教科書・配布プリント		
第7回	股関節脱臼① 後方脱臼			p.366～	教科書・配布プリント		
第8回	股関節脱臼② 前方脱臼、中心性脱臼			p.368～	教科書・配布プリント		
第9回	まとめ				教科書・配布プリント		
第10回	定期試験						
実務経験と本講義との関連について							
柔道整復師として接骨院および整形外科で臨床に携わった実務者の視点から講義する。							
メールアドレス							
kanda-t@nihonisen.ac.jp							